

欒

けやき

小牧幼稚園 園だより 第385号 2023年6・7月

教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」

年主題「ともにつむぎだす」～希望の中で～

年聖句「キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも

また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました」

エフェソの信徒への手紙2章17節

6月の末から、「真夏日」が多くなってきました。お帰りの時間「園庭」で遊ぶのが心配な気温となり、お迎えまで、保育室で学年混合で絵本を読んだり、紙芝居を見たり、お歌を歌ったりして過ごしています。学年混合で過ごす、年少組は普段歌わない歌を歌って楽しんでいます。園庭は確かに暑いところではありますが、真ん中に大きな木が子どもたちに日陰を作ってくれます。湿気が無い朝の時間は、その日陰に集まり、子どもは遊んでいます。この木は、園だよりの題になっている「欒」です。子どもたちを守るように大きく布を広げるように日陰を作ってくれます。その様子に園だよりも「欒」と名付けました。日頃手入れをして頂く庭師の方は、「今時、こんな堂々としている欒はあまり見かけない」といつも言いながら、年に数回、消毒をして頂いています。只、冬は枯れ葉が一斉に落ちますので、隣のご迷惑になるため、冬の間、先生たちが、数回お庭のお掃除に行かせてもらっています。結構手間もかかります。

真夏日の“上”に猛暑日がありますが、真夏日が30度以上で、35度以上になる日を猛暑日と言われます、この言葉は新しい言葉らしく、日本で35度以上になることが珍しいので猛暑日に当てはまる日がこの数年増えたため「猛暑日」と言われ、「真夏日」もそんなに古い言葉ではないらしく、私の子ども時代、暑い日は「夏日」と言われていました。地球温暖化で、「猛暑日」の後はどうな言葉ができるのか不安になります。

園だよりの題が「欒」となったのは、1992年1月発行の第74号からです。前年の1991年の夏に年度途中で病気療養のため休園し、その後亡くなった「舟橋聖也」君のご両親が正門の横に「柘植」を、そして「欒」を記念樹として植えられました。たまにご両親でおいでになっていますが、先日お会いした際に「30回忌になりました、一度手入れに行かさせていただきます」と言われましたが、「毎年、庭師さんが手入れしています。大きくなって子どもたちを守ってくれます。」お話しすると、大変喜んでお見え出した。「私どもこそ、子どもたちを、猛暑から守り、包み込んでくれる、欒に、感謝しています」とお伝えしました。ちなみに、欒の題字は、聖也くんのおじいちゃんに描いていただき、30余年、そのままです。

☆小牧幼稚園を運営している学校法人つくし学園では、令和4年度の財務を公開しています。「ホームページ」園だよりの欄で公開しています。原本も関係者には「学校法人つくし学園 財務状況公開要綱」により、実費で公開しています。希望者は問い合わせください。

7・8月給食メニュー

7月4日(火)	クロワッサン	鶏の唐揚げ	果物
6日(木)	ジャージャー麺		果物
7日(金)	夏野菜カレー		果物
11日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
13日(木)	麻婆豆腐ご飯		果物
14日(金)	五目冷や麦		果物
18日(火)	クロワッサン	フランクフルトソーセージ	果物

夏の幼稚園

7月24日(月)・25日(火)・26日(水)

8月17日(木)・18日(金)・21日(月)

☆暑い季節ですので、夏の幼稚園の給食メニューは悪くならないもので、デニシュパン・クロワッサン・ワッフルと飲み物、紙パックのジュースをストローで飲みます。

☆食材の都合でメニューの変更もあります。

☆来年度入園予定の子どもたちの園見学・夏のわいわいクラブなどについては、お手紙・ホームページでお知らせしています。お知り合いで興味のある方がお見えでしたら、お知らせください。

☆先日、名古屋にある日本で最初にできたと言われる、絵本の店「メルヘンハウス」の先のオーナーの「三輪 哲」さんが亡くられました。私も葬儀に参列させていただきました。「メルヘンハウス」は5年度ほど前お店を閉店されましたが、その後、息子さんが、新「メルヘンハウス」を再開されました。お父さんも大変喜んでお見えだったそうです。三輪哲さんは、小牧幼稚園の家庭学級でもお話をしていたり、小牧私立幼稚園連合協議会でも、教員研修会や、PTA フォーラムなどでもお話をして頂きました。勿論「メルヘンハウス」も何度か、絵本を求め訪問していました「絵本や」の開拓者がお亡くなりになりました。残念です。でも、息子さんが頑張っています。応援したいと思います。

ネットで本を買う時代になり、本屋さんが困っています。園にも出入りの本屋さんがありますが、先日、今池の店を閉め、ある教会の空き家を借りて、営業を続けています。手に取って、立ち読みして本を買う時代から、書評を読んで、誰かの推薦で、ネットで注文する時代になりました。ある図書館が出来るとき「アマゾンの方が入荷が早く便利」と言う、話もありました。

自分の目で確かめて、物を選ぶことを忘れないようにしたいです。